

国破れて教育あり

昭和二十二年まで義務教育は六年で上級学校は図表のように複数あった。占領軍の要請でこの学校群は全廃され、学校は単線化、新制中学校三年が義務教育になった。勘繰れば九年に延ばしたのほゆとり教育と同じ、日本弱体化の策謀に見えるが、ここは素直にプラスのことと考えよう。

誰が義務教育を九年にしたか

丹羽公男氏曰く。
「日本は凄い国だと思おう。昭和二十年（一九四五）に戦争に負け、アメリカの無差別都市爆撃で日本全体が焼け野原になった。食うものも着るものもなく、失業者が町にあふれていた。それから二年たらずの昭和二十二年四月に全一斉に一万八千校の新制中学校開設、授業が始められた。」

それまで小学校を出ただけで商店の丁稚や職人の弟子や農業漁業の親の手伝いについた子供が、全員あと三年間教育を受けることになった。

戦争に負けた国が子供の教育に力を入れる。誰がこれ考えたのか。誰が行ったのか。昭和の時代に偉い人はたくさんいるが、この新制中学校を敗戦後すぐに作った人は最高に偉い人である。

日本の国のためになるこんないいことをアメリカがするはずがない。アメリカは修身、歴史、地理三教科の授業を禁止し、かわりに民主主義を教育する社会科の授業を設けさせ、教師の労働組合、日本教職員組合を作らせた。子供に愛国心を持たせる教育は一切してはならないとし、生徒の自主性と個性の尊重、平等民主主義を教育方針として押しつけた。

アメリカとGHQでなければ日本人の誰かがこの大政策を行ったのに違いない。その当時の経緯を知りたい。

今年から四月二十八日が「主権回復の日」になった。昭和二十七年（一九五二）四月二十八日、サンフランシスコ講和条約により、占領軍は引き揚げ、日本は主権を回復した。

ということはこの日まで、政府や国民に主権はなく、すべての分野でアメリカの意思どおりに動き

講座 経宮管理 293
染谷和巳

従うしかなかった。教育の分野でアメリカが日本の政府や文部省のやりたいようにさせたということはある。教育に関しては、戦前の教育の全否定とアメリカ流民主主義の注入に力を入れた。

丹羽氏は日本国に利する義務教育の三年間延長をアメリカがするわけがないというが、この教育の大改革を主権を持たない政府つまり傀儡政権が自力でできるわけがない。

当時アメリカは日本の弱体化を占領政策の柱にしていた。民主主義を標榜する国としてはいささか卑怯な政策なので、日本人の反発を受けたくないよう隠蔽し情報操作を行った。したがって当時の教育改革の経緯は霧の中、真実はどうだったのか簡単に解明することはできない。

の将来のために「義務教育九年を一気に既成事実にしたのである。吉田内閣はこの時が第一次で第五次までの長期政権であるが、第一次と第二次内閣の間に一年半の空白期がある。第一次吉田内閣は、総理になるはずだった日本自由党総裁鳩山一郎がGHQに「公職追放」されたために急遽誕生した。当時マッカーサーは共産党など左翼政治家を厚遇しており、また吉田茂のワンマン政治の評判は悪く、国民は「神様の言うとおりに」日本自由党を見限った。昭和

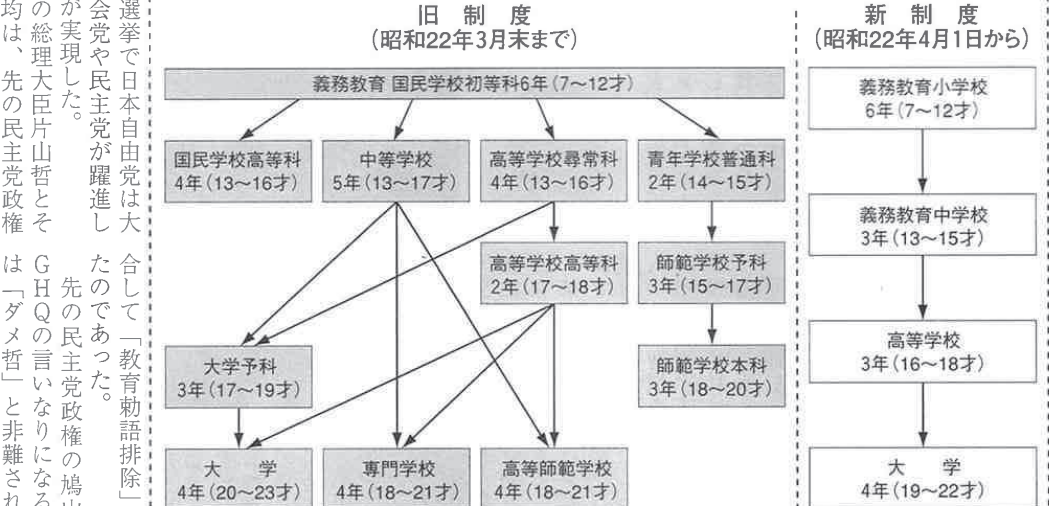
の将来のために「義務教育九年を一気に既成事実にしたのである。吉田内閣はこの時が第一次で第五次までの長期政権であるが、第一次と第二次内閣の間に一年半の空白期がある。第一次吉田内閣は、総理になるはずだった日本自由党総裁鳩山一郎がGHQに「公職追放」されたために急遽誕生した。当時マッカーサーは共産党など左翼政治家を厚遇しており、また吉田茂のワンマン政治の評判は悪く、国民は「神様の言うとおりに」日本自由党を見限った。昭和

の将来のために「義務教育九年を一気に既成事実にしたのである。吉田内閣はこの時が第一次で第五次までの長期政権であるが、第一次と第二次内閣の間に一年半の空白期がある。第一次吉田内閣は、総理になるはずだった日本自由党総裁鳩山一郎がGHQに「公職追放」されたために急遽誕生した。当時マッカーサーは共産党など左翼政治家を厚遇しており、また吉田茂のワンマン政治の評判は悪く、国民は「神様の言うとおりに」日本自由党を見限った。昭和

の将来のために「義務教育九年を一気に既成事実にしたのである。吉田内閣はこの時が第一次で第五次までの長期政権であるが、第一次と第二次内閣の間に一年半の空白期がある。第一次吉田内閣は、総理になるはずだった日本自由党総裁鳩山一郎がGHQに「公職追放」されたために急遽誕生した。当時マッカーサーは共産党など左翼政治家を厚遇しており、また吉田茂のワンマン政治の評判は悪く、国民は「神様の言うとおりに」日本自由党を見限った。昭和

の将来のために「義務教育九年を一気に既成事実にしたのである。吉田内閣はこの時が第一次で第五次までの長期政権であるが、第一次と第二次内閣の間に一年半の空白期がある。第一次吉田内閣は、総理になるはずだった日本自由党総裁鳩山一郎がGHQに「公職追放」されたために急遽誕生した。当時マッカーサーは共産党など左翼政治家を厚遇しており、また吉田茂のワンマン政治の評判は悪く、国民は「神様の言うとおりに」日本自由党を見限った。昭和

学校教育法(昭和22年<1947>4月1日施行)による学校制度単線化



●6年の義務教育を終えて上の学校へ行かない予定の子供が昭和22年からあと3年間全員中学校に通うことになった。
●昭和22年から25年までは旧制と新制の学校が混在していた。在校生の卒業を待って旧制学校は閉鎖した。

敗、日本社会党や民主党が躍進した。連立政権の総理大臣片山哲とその後、片山均は、先の民主党政権に似た「民意迎合」の政治家であった。先ず、片山均は「GHQの言いなりになる片山総理は「ダメ哲」と非難され、片山総理は田中角栄に似た贈収賄事件で失脚。革新連立政権は昭和二十二年五月から二十三年十月までの一年五カ月で終焉した。

文部省や教育刷新委員会のメンバーは、修身道徳教育の柱である「教育勅語」を尊重し「教育基本法」の精神と矛盾しないので今後も学校教育で教える」という見解を表明していた。

昭和二十三年六月、吉田均内閣の時に「教育勅語等の排除、失効」案が衆参両院で可決され、学校教育から排除されることが明文化された。片山均は以前は教育勅語を肯定擁護する発言をしていたが、マッカーサーを神と仰ぐ民意に迎

合して「教育勅語排除」に賛成したのであった。GHQの言いなりになる片山総理は「ダメ哲」と非難され、片山総理は田中角栄に似た贈収賄事件で失脚。革新連立政権は昭和二十二年五月から二十三年十月までの一年五カ月で終焉した。